



昭和54年(1979年) 新羽町航空写真

新羽地区社協の歴史・・・新田地区社協(新羽・高田・新吉田地区が一緒のもの)より、平成3年(1991年)4月27日の総会にて新羽地区社協が単独

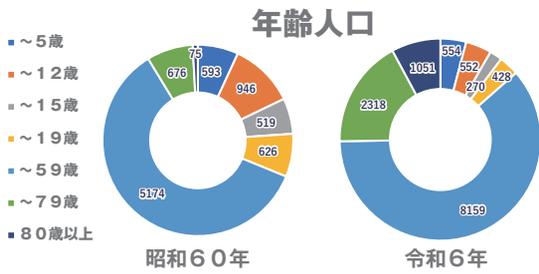
「ふくしの和」は今号で記念すべき40号です。年に1回の発行ですので、初号は40年前1984年(昭和59年)。みなさんはどのように過ごされていきましたか? 新羽小学校の副読本に1979年(昭和54年)の航空写真がありました。この年代から現在の発展は予測できただでしょうか?



新羽地区 ふくしの和 第40号 特別号 発行 新羽地区社会福祉協議会 蛇の折紙

の社協として発足した。初代会長は小山勇吉氏。以降会長は中村信男氏、柴田周氏、中山宏氏、望月俊一氏、松村清見氏、中山明子氏、現在会長の

米山健二氏。平成22年(2010年)に会長をされ現在相談役の望月俊一さんに、新羽地区社協活動25年を振り返った話をお聞きしました。(以下望月さん談) 私が社協に入ったのは平成11年で会計担当が始めました。「地区社協ってなに?」の状態だったので、同期の桑畑さんと苦勞しました。その頃の地区社協は『ふくしの和』の発行と福祉施設の視察研修が主な活動で、当時の会長の柴田さんより「社協はこれでいいのか?」と問題提起。



歴代会長

Table of past presidents from 1989 to 2023, including names like 箕川新一, 小山勇吉, 中村信男, etc.



1984年~85年はこんな年

- List of events from 1984-1985: エリマキトカゲのブーム, ロス五輪 陸上種目, 新札の発行, etc.

Table of Niinaka town population composition: 総数 8,609人, 一般世帯数 2,911人, etc.

謹賀新年

- List of board members and staff: 会長 米山健二, 副会長 尾出清和, 常務理事 浅倉克彦, etc.

新羽地区社会福祉協議会

町内に向けて「一人暮らしや高齢になつたら助けが必要か？」というアンケートを採り、中丸さん・酒川さんが中心となつて平成15年に「たけのこにつば」が発足。その後飯島さんなどが「たんぽぽにつば」を立ち上げ。これらは港北区社協ボランティア活動の先駆けとなりました。

また、平成26年5月の新羽地域ケアプラザの開所には特に思い出が多いです。港北区最後のケアプラザ建設要望の住民の思いをまとめ、地区社協として区長へ提出しました。当時の小川区長、区役所小野課長や横浜共生会、地主の中丸さん、設計の津園さん等々のご尽力に本当に感謝しかありません。先日は10周年記念式典も行われ、住民の交流拠点となりうれしい限りです。

ほかに、新羽地区社協のスローガン「手をつなぎ 心をつなぐ思いやり 花と緑のまちな新羽」と、「和・輪・話」のまちな新羽をつばを、令和4年会長の中丸さんと作りました。

これからも地域のみなさんの大きな輪が広がって、新羽が住みよい町になることを願っています。



## 新年のご挨拶

港北区長 竹下幸紀

新年あけましておめでとうございませう。

新羽地区の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より地区社会福祉協議会や連合町内会の皆様には、「和・輪・話」のまちな新羽を合言葉に様々な活動に取り組んでいただいております。昨年は夏の新羽サマーフェスティバルでは私も区職員とともに大新羽音頭を楽しみ、踊りを通じて新羽を大切に思う多くの方々との

絆を深める貴重な機会となりました。

港北区の地域福祉保健計画である「ひとつとプラン港北」は、今年で第4期計画の5年目を迎えます。来年度にかけての第5期区計画及び新羽地区計画策定にあたりましては、区民の皆様

の声を反映してまいります。本年も引き続き、区職員と新羽地区の皆様御一緒に地域づくりを進めていきます。新たな年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶

新羽地区社会福祉協議会 会長 米山健二

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、本会の運営・事業の推進につきまして、深いご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本紙「ふくしの和」は、新羽地区社会福祉協議会機関紙として本号(第四〇号)で創刊四〇周年を迎えました。これもひとえに新羽町の皆さまのご愛読のおかげです。賛助会員の皆さまに厚く感謝と御礼を申し上げます。



## 新年あけましておめでとうございませう。

新羽地区社会福祉協議会 副会長 尾出清和

みなさまにおかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新羽地区社会福祉協議会の皆様には日頃地域の福祉活動にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

さて、感染症コロナも下火となり連合町会のイベントも開催され、新羽サマーフェスティバルは皆さんが楽しみ最後の大新羽音頭は大勢の参加で大きな輪ができ盛りあがりました。健民祭は一昨年は雨天中止となりましたが時間の短縮、自由参加など例年と異なる内容で実施し、盛り上がりました。

第四期地域福祉保健計画「ひとつ



## 新年のご挨拶

港北区社会福祉協議会 事務局長 仲丸 等

新年あけましておめでとうございませう。

皆さまにおかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大きな災害などがあり地域のつながりの大切さを改めて認識したところです。安心して暮らしていくためには、日常の生活の中での近所とのつながり、町内会活動等を通じた地域のつながり、趣味活動等で

とプラン」は五年目を迎え最終年度となります。

本年度は第五期のスタートに向けて、四期の活動を振り返りながら活動計画を検討していきます。

「和・輪・話」の町につばを推進し、そして、新羽町連合町内会、社協、民協、新羽地域ケアプラザ等の組織の皆さんと行政と共に連携し、より良い新羽の街づくりに取り組んで参りますので皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

のつながりなどを大切に広げていくことが必要と思われませう。地域福祉保健計画「ひとつとプラン港北」では、そのようなつながりづくりを地域の方々と一緒に進めています。

私どもは、新羽地区社会福祉協議会の皆様と共に誰もが自分らしく暮らしやすい地域を築く活動をしてまいります。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



神奈川県立新羽高等学校  
校長 勝股 正

### 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。  
新羽高校が、新羽の地に創立されてから、今年で49年目となりました。この間、地域の皆様との愛情に支えていただいていたことを改めて感謝いたします。  
先日、地理の授業で、戦前の新羽地域の地図を大型モニターに映しながら、地図を読み解く授業を行いました。  
私も、生徒と一緒に地図を眺めて、現在の新羽高校や北新横

浜駅の位置はどのあたりか予想を立てながら、当時の新羽町の、水田と林が広がる、現在とはまったく異なる風景を思い浮かべていました。  
コロナ禍では、新羽生が地域の行事に参加させていただくことを中断していましたが、昨年8月のサマーフェスティバルでは、2年連続でダンス部のダンスを披露させていただくなど、少しずつコロナ前の活動を復活させてきています。  
令和7年も、新羽高校を温かく見守っていただき、ご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



横浜市立新羽中学校  
副校長 飯塚英恵

### 学校・家庭・地域とともに

新年あけましておめでとうございます。  
新羽地区の皆様には、本校の教育活動にいつもご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。私は新羽中学校で約3年間、生徒やPTA、地域の皆様と過ごしてきましたが、新羽地区の皆様、街並み、自然、雰囲気がとても大好きです。そして、新羽地区の子どもたちはいつも地域の方々に見守られながら成長することができています。本当にありがとうございます。



横浜市立新羽小学校  
副校長 徳田達哉

### 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
現在、子どもたちを取り巻く社会では、信じられないような事件や事故が相次いで起こっています。学校・家庭・地域がしっかりと連携をして、子どもたちが地域への愛着心を深め、安心して過ごせる学校・地域になるよう引き続き取り組んでまいります。地域協働につきましても、新羽中学校の学校地域コーディネーターの皆様は現在6名ですが、来年度は3名も増える予定です、共に考えながら進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



横浜市立新田小学校  
副校長 野村賢司

### 地域の皆様と共に

新年明けましておめでとうございます。  
本校に就任し三年目を迎えます。新羽地区の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。  
新羽地区は、地下鉄や商業施設、工場などが立ち並び賑やかな感じがします。住宅やマンションなども立ち並び、たくさんの方が行き交う様子も見られます。また、畑や竹林、小さなせせらぎなどが有り心が安らぎます。  
今年度も地域の行事などが多く行われ、子どもたちが参加し、皆様に支えられ、楽しく元気に過ごしています。  
この素敵な地域と共に歩む学校を目指して今後も教育活動を推進していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 第74回 港北区「社会を明るくする運動」 標語コンクール 優秀作品

区内の小学校・中学校から応募された標語作品の中より  
選ばれたものです。

- 「だいじょうぶ？」 どんなときでも なかまだよ  
新羽小学校 五年 中條 開人
- 一言で 誰かがきつと 救われる  
新羽小学校 五年 岩崎結依音
- 立ち直る どんな人でも もう一度  
新田小学校 五年 尾高 睦美
- あたたかい 気持ちと笑顔が 満ちる街  
新田小学校 六年 松原 彩希
- 差し伸べる 小さな勇気が 輪をつくる  
新羽中学校 一年 村岡 六花
- 「どうしたの？」 小さな気づき 大きな繋がり  
新羽中学校 二年 山崎 遥
- 良き街を 守る我らは 良き仲間  
新田中学校 二年 八重樫 透
- 人と人 笑顔あふれる 僕の街  
新田中学校 三年 菊地 禮子

新年あけましておめでとうございます。  
日頃より学校の教育活動にご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
私は、昨年の四月に新羽小学校に就任しました。本校の子どもたちは、地域の皆様の深い愛情に支えられながら、本当に伸び伸びと成長していると感じます。学援隊や旗振りボランティアの方々による登下校での見守り活動では、「毎朝、子どもたちの笑顔に元気をもらっています」との温かい言葉をいただいています。また、学習指導・支援ボランティアとして、地域の方が学校の教育活動に協力してくださる機会も数多くあります。

# 表彰受賞者のご紹介

またボランティア活動功勞として1団体と2個人が受賞しました。

団体  
受賞



ボランティア活動功勞  
「ダイニング28(にっぱ)」  
(代表 飯嶋由美子さん)

地域食堂として2017年12月に発足し、今年で活動7年目。多世代の人がいっしょに食事をとり、異世代間でおしゃべりやフリースペースでの遊びをするなど、「交流できる地域の居場所」作りが目的で、毎月28日(にっぱの日)を実施日として、平日は夜6時から8時(土日祭日は昼12時から2時)に開催している。毎回80食ほどの食事を準備。現在スタッフは16名。メニューは実施日の1週間前ごろに、旬の食材などを見て決定している。野菜は新羽の畑から朝獲りされたものを調理しているの、「子どもが家では野菜は食べてくれないのに、ダイニング28ではおかわりするほど食べている」と感激するお母さんの姿も。「新鮮な食材だからもあるが、みんなで食べるからもらえるパワーもあるはず」と代表の飯嶋さんは言う。

一人で参加している方にも誰かが必ず声かけが出来るように、配膳はスタッフが行い、食器の返却は参加者が行うように考えた。今のスタッフ数では月1回の開催がやっとだが、夢はスタッフ数を増やして月2回行うことである。開催日は月によって変わることもあるので、回覧板や掲示板で確認していただき、特に一人で食事している方や家族での参加をお待ちしている。

個人  
受賞



ボランティア活動功勞  
米山幸さん・文代さん(中央)

バラや百日草、アジサイ、マリーゴールド・・・新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウスの玄関は、いつも見事な花や野菜で彩られています。長年、自宅で世話をしている頃になるものを運んでくださっているのが、今回受賞された米山幸さん・文代さんご夫妻。

その花の見事さは、ガーデンをそのまま持つてきたかのよう。「いつもきれいなね」「どなたがそだてているの？」とケアプラザの職員や通りすがりの方との話のきっかけになっています。「写真を撮って友人や家族に送りたい」とカメラを向けたり、バラの前でよく立ちどまって地域の方がおしゃべりしたり。この花たちが人と人とを結ぶ、地域の交流の原点になっています。

一番見事なのはバラの花。玄関両脇に2m近い高さのバラを1〜2鉢。その前に低めのバラを配置して、とても立体的で優雅な庭園への入り口のよう。地域ケアプラザの敷居が高いな、用事が無いと言わず、花だけでも見てみようかなと思ってもらえたらうれしいです。



# 令和6年度顕彰者

地域福祉活動功勞として1団体と2個人が受賞。



## 地域福祉活動

### 「新羽町親睦ゴルフ大会」

(新羽町親睦ゴルフ大会 会長 米山幸さん)

新羽町親睦ゴルフ大会は今年度の春の大会で50回目の開催となります。過去に各町会単位のゴルフ大会が行われていましたが、26年前に合同で大会を開催してはどうだろうかと話が持ち上がり、各町会のゴルフ大会参加者に声をかけ、当大会の実行委員会を発足することができました。

参加者は新羽町の在住・在勤者で性別・年齢の制限は無しとし、年間春と秋の2回開催と決まりました。当ゴルフ大会は各町会の垣根を越えての親睦を深めることを目指していますので組合せは4人とも異なる町会の人としました。最近では毎回40人程度が参加しています。

当ゴルフ大会は毎回参加者全員のチャリティーで集まった金額を新羽地区社会福祉協議会に寄付し、地域の障害者等の福祉事業に役立ててもらえればと思っています。

今春は50回記念大会開催となりますが、いままです合町内会からのご支援と多数の企業様のご協賛等に厚く御礼申し上げます。



## 地域福祉活動

### 鈴木京子さん(中ノ久保)と千保千代子さん(中央)

ともに民生委員児童委員で、委嘱されて15年を超える。千保さんと鈴木さんは、民生委員児童委員以外のボランティア活動や町内会ほか地域活動にも多数参加され、地域の方の見守りやイベント等でご尽力を頂いている。お二人とも優しい方で、新羽町内の多くの高齢者や障害者等とのよき関係を築かれている。



令和6年8月17日(土)

**新羽地区**

# 新羽サマーフェスティバル

新羽高校ダンス部の皆さん

多くの来場者の方々

新羽中学校校庭を会場として、第30回新羽サマーフェスティバルを開催しました。

新羽消防団から消防車への試乗を始め、各町内会・関係団体などが当てくじ、金魚すくい、射的などの子ども向けから、衛生に配慮しながら飲食物の販売などグラウンド一周に18ブースの店が出て、来場者は夏のひとときを楽しんでいました。

酷暑が続く中で暑さ対策など大変なことも多かったのですが、みなさまのご協力で地域の方が集まれる大切な時間を作ることができました。

## “50周年プラス1” 健民祭が開催

### 令和6年10月20日(日) 5年ぶりの健民祭です。

「みんな集まれ新羽のわ！」を合い言葉に。



50周年プラス1新羽地区健民祭	
開会式	8時20分
競技(自由参加)	8時45分
50周年プラス1記念特別出演	12時15分
閉会式	13時00分

会場図

健民祭実行委員会より

コロナ禍で失われつつある地域のコミュニケーションと日常を取り戻すため、気軽な気持ちで新羽の丘の上に足を運んでいただき、簡単なスポーツやレクリエーションを楽しんでいただくことで、地域の皆さんとの再会、顔を合わせる機会を作ることが目的に、準備を進めました。

昨年はコロナ禍明けの記念回「第50回健民祭」を企画していましたが、当日があいにくの雨で中止に。よって本年はやっと記念回(のプラス1回)として、競技内容を刷新し、初回として無事に開催できました。

対抗競技は、各町会・自治会別にならず、来場者が赤白に分れて行われました。老若男女問わず各競技、全員参加にて楽しい時間を過ごしました。

最後は横浜市消防局のプラスバンドの演奏があり会場を盛り上げていただきました。

来年度はもっと多くの方のご参加をお待ちしております。スポーツの秋を一緒に楽しみましょう。



# 新羽杉山神社神輿会祝 40 周年



令和6年11月24日40周年を祝う会をグレイスホテルにて開催。氏子・町会・地域の方も含め120名ほどの出席者にて盛大に祝うことができた。古くは、村々（各町会）で各々が神輿を担いでいたが、杉山神社が主の宮神輿になり、正式に「新羽杉山神社神輿会」として発足してから今年でちょうど40年。現会長は奥山豊（中ノ久保町内会）。

神輿会発足時は100名以上の会員がいたが、現在は50名ほど。世代交代が進んでいるが、初代会員もまだ現役で、伝統を末永く受け継ぐことが使命と考え、活動をしている。これからも年に一度の神輿渡御を楽しんでいきたい。

## 新羽杉山神社 神輿渡御が10月6日に開催

神輿は神様のご加護を町内の家々（氏子）に授け、厄を払うため、神様の御霊を神輿に移し、町内全域を練り歩くもの。渡御（とぎよ）と云う。

コロナ禍では、境内にて神輿の展示のみだったの

で、練り歩きは4年ぶり。今年は10月6日例大祭の日に神輿渡御が行われた。通常は前週日曜日。前日に境内階段下に下ろされ、朝9時に宮入り（神様を神輿に移す）、お清め後に出発。一日をかけて7町会（新羽町町内会↓新羽町自治会↓大竹↓南↓クリオ新横浜北↓中ノ久保↓中央）を練り歩いた。先頭は小さい子どもがメインに引く山車（お囃子が乗る車）、そのあとに子ども神輿と大人神輿が続いた。お囃子の音色と担ぎ手の元気なかけ声が、町中に響き、各町会や沿道の方にも笑顔があふれていた。

子ども神輿は保護者も手伝って担ぎ、昼休憩のエスポット前まで、みんな無事に歩き通した。

### 次世代に一緒に継承する 仲間を随時募集中

神輿を担ぐには会の法被が必要。神輿渡御中に「担ぎたい」と声をかけてくれたら、法被の貸し出しができるので、不安な方も一度体験してから入会が可能。背の高さは必要だが、新羽に住んでいれば年齢・性別・国籍を問わない。一緒に盛り上げていきましよう。



小さな気持ち紡いで

新羽中三年 卯野 桜

私は服を捨てるのが大の苦手です。なぜならば、その服はもう着てもらえなくなってしまうだろうと思うからです。けれど、捨てるときはいつかきます。服は体が大きくなったり流行りが過ぎたりするからです。そのため、まだきれいなにもう着られないことがあります。捨てるのは少し気がひけるなと思っていた時、私は貧困地域で服が足りなく困っている人たちにまだきれいだけど着られなくなった服を送る支援を知りました。

この取り組みなら捨てるだけでなく、また着てもらえることでプラスになると思いました。そして、こんな小さなことでも身近なところから困っている人たちを支援することができるとです。正直、国際平和や貧困の子どもたちのためにといった取り組みと聞いても、私には何もできることはないと思っていました。けれども、そういった取り組みをすることで、私も着られなくなった服を捨てる寂しい気持ちよりも、その服で困っている人を助けるのに貢献できる嬉しさのほうが勝っていったのです。私も、その支援を知って着られなくなった服があった時は家族でその支援をしている企業がおいてある箱に入れていくようにしています。そこに初めて行った日に箱の中を見てみると、なんとたくさんの服がぎっしりと入っていたの

です。私はこれを見てとても嬉しくなり、心が温まりました。こんなにも、この支援を知っている人がいて、そして企業側も管理をしていてくれる。それだけで、この取り組みはすごいのだなと思いました。たった一人の力でも小さいことが積み重なればすぐ大きな力があるのだと改めて感じ、それにより私もできることは少しずつ支援してみたいと興味が湧いてきたのです。

私のように最初はこういった取り組みを知らなかった人や、よく分らない人、興味もなかった人もたくさんいると思います。けれど、みなさんがその取り組みを知ってそこに参加してみることが大切です。それにより一人一人の小さな力を集め、困っている人を助けるといふ大きな力にすることができるとです。まだこのような取り組みを知らなくてもいいです。興味が湧かなくてもいいです。けれど、一回でもいいので調べてみてください。服だけでなく靴やランドセル、キャリーケースなどこういった困っている人へ送る取り組みがあります。一人の困っている人のために一着の服を、一人の困っている人のために一足の靴を。服がなくて困っている人も着てくれる人がいなくて困っている服も、どちらも笑顔になれるように身近で取り組みやすいところから、みなさんで一緒に助けたいと思いませんか。

思いやりは平和に繋がる

新羽小六年 清水蒼真

幼稚園児の頃、テレビでオリンピックを見ていた時に、日本と他国の人が競い合っているところを見ていました。試合をしている時、日本人選手がファールをしてしまいました。ですが、その日本人選手はすぐに、ファールを謝ってしまっただけで、外国選手に謝っていませんでした。そして勝敗がついた後に、互いの健闘を讃え合い、握手を交わすという姿を見たことがあります。そこで、スポーツは他人と自分を繋げるとても良いものだと僕は思い、サッカーを始めました。

これまでに僕は、数え切れないほどのチームと戦い、時にはファールをされたり、試合に負けて相手チームから煽られたりしたこともあります。僕は幼稚園児のころからサッカーをしていて、とてもサッカーが好きなのに、嫌なプレーをされると、時々サッカーをやりたくないと感じるようになります。そして、ついに僕は一か月間サッカーを休んでしまいました。ですが、たまにフェアプレーという、僕が見ていたオリンピックの時の日本人選手みたいな、相手のことを思いやり、正々堂々と楽しくサッカーをプレーする人もいます。

ある日、サッカーの練習試合をしていました。その試合の序盤は白熱し、お互いチームを警戒しながら、多少プレーが荒くなっていました。そして、終盤には相手

チームが僕にファールをしてしまいました。しかし、ファールをしてしまった人は僕が見ていたオリンピックの日本人選手みたいに、すぐに謝ってくれました。さらには手を差し伸べ、立ち上がらせてくれました。その時のファールで、僕は足に怪我をしてしまったけれど、決してその人を恨むことはありませんでした。僕はそんな、フェアプレーという思いやりの心を持つ人が増えれば、僕みたいに不快な気持ちにならず、平和になると思いました。

この練習試合で僕は、スポーツマンシップという思いやりの心を持ち、スポーツや日常生活に活かしていきたい。しかし、思いやりの心を持たない人も世の中にはいます。思いやりの心がなければ、誰もいい気持ちになりません。スポーツマンシップを持ったプレーをお互いすることで、いい気持ちになったように、人に思いやりの心を持つと、その人も同じような気持ちになり、行動に移してくれます。この思いやりの連鎖が続けば、世界が平和になると思うのです。世界が平和になるためには、まず、思いやりの心を持つことが大切なのではないのでしょうか。その一歩として、これからは僕は誰かのことを思いやっしていきたい、連鎖を続けていきます。

わら蛇

新羽小三年 深澤柚月

わら蛇を作るのは思っていたよ

りも、とても大変でした。しかし、保存会や保護者の方々が優しく、丁寧に教えてくれたおかげで、上手にわら蛇が作れました。いつも学校で見ているわら蛇の作り方が分かり、嬉しかったです。家の前に飾って、病気から守ってもらおうと思います。

わら蛇

新羽小三年 宮本こなつ

わら蛇の上あごを作るとき、わらを上下に動かして作るのが難しかったです。わからないときに、保存会の方のみなさまが教えてくれたので、すぐわかりました。今日作ったわらへびを、玄関にかざって家族を守りたいと思いました。



便利なものを、便利に使う

新田小六年 松儀香凜

今、電車に乗るとほとんどの人が手にスマホを持って、画面を見

ています。みなさんもSNSに夢中になっていないのではないのでしょうか。たしかに、SNSは魅力的だし便利なこともたくさんあります。でも、SNSには危険なところもあるのを知っていましたか。知らないうちに、加害者や被害者になっていくこともあるのです。

たとえば、オンラインのゲーム。そのゲームの中で知り合った人に呼び出されて誘拐されてしまう可能性があります。また、メッセージアプリなどで気軽に送ったメッセージなどが原因でトラブルになることもあります。

このようなことが起きるのを防ぐためにはどうしたら良いと思いますか。私は「よく考える」ということが大切だと思います。身近な人や友達には、ついつい気軽にメッセージを送りがちだし、実際に会ったことがなくてもゲームの中で仲良くしていたら信頼したくなってしまう。でも、そういう時でも、もう一度自分がやることを考えてほしいです。これはおかしいんじゃないか、とかこれを送ったら傷つく人がいるんじゃないか、ということに気づくことができるかもしれません。

また、他にもやってみたら良いんじゃないかと思うことがあります。それは、自分で自分だけの「SNSのルール」を決めることです。他の人にやらされているときはあまりいい気持ちがないけれど、自分で決めたルールだったら守れるのではないのでしょうか。

このように、危険なことがあるものでも、自分でその正しい使い

方を知っていれば、自分にとって良いものになると思いませんか。こうやって一人一人が意識していくことでSNSがもたらした犯罪がなくなると、便利なSNSがもっともつと安全になっていくってほしいなと思います。

あいさつと防犯との関わり

新田小六年 松原彩希

わたしは、この街ではあまり犯罪が起きていないと思います。でも、いつ犯罪が起こるのかわからないので、起こる前から対策をしておいた方がいいと思います。その対策として、私が考えたのは「あいさつ」です。

いざ街で犯罪が起こった時に、互いに名前も住んでいるところも知らない、団結力がなく、犯罪者と戦えないと思います。日頃から地域の人たちとあいさつというコミュニケーションをとってあげば、ある程度顔見知りなので、みんなが団結して犯罪者を追い払うことができると思います。

窃盗や強盗なら、今述べたような方法でも通用すると思います。が、ほかの犯罪者の場合はどうでしょうか。例えば、誘拐です。犯罪者といったら強盗などが思い浮かぶ人が多いと思いますが、誘拐も犯罪の一種なのです。

誘拐も強盗などの犯罪と同じようにあいさつで防ぐことができるのです。

例えばエレベーターなどで、二人きりになったときにおそわれた

としても、急いで降りて顔見知りである人の家に助けを求めることができるのです。

今までのことを踏まえてもう一度考えてみるとやはり、あいさつというコミュニケーションは、犯罪を防ぐためにも、もちろんご近所との関係を良好に保つためにもすごく大切なのです。

なので皆さんも、頑張ってください。さつをして、地域の幸せの輪を一緒に築いていきましょう。

あいさつの大切さ

新田小六年 仲里萌生

皆さんはあいさつについてどう思いますか。私はとても大切なことだと思えます。あいさつをするとなんとなく明るくなり、地域の人とも仲良くなる事ができます。

そんなあいさつを広げるため、私たちにできることは何でしょうか。私たちにできることは三つあると思います。

一つ目は自分からあいさつをすることです。自分からあいさつをするとあいさつをしてくれた相手はすごく嬉しい気持ちになります。そして、元気にあいさつをすればスッキリした気持ちにもなります。

二つ目は、元気に、明るくあいさつをすることです。あいさつの仕方を少し変えることで地域の人と明るくなる事ができます。

三つ目は、困っている人を見かけたら、積極的に声をかけ助けることです。積極的に声をかけ、助

けると相手はうれしくなり、仲良くなるきっかけにもなります。そして、自分が困っているときに助けてくれます。このように、元気に、明るくえがおで意識してあいさつをすることで地域の人と仲良くなり、自然と明るく楽しくなることはできます。そして、困っている人を助けたら、その人が、自分が困っているときに助けてくれます。みなさんも、犯罪を防ぐためにまずは、身近なあいさつから始めてみませんか。

私の住む街「新羽」

中之久保町内会 津田淑世

私たちが福岡から横浜に転居し、八年になります。私の住む街「新羽」は、ひとりで云つてとても住みやすい街です。

まず交通の便がよいので、車を使わない高齢者にとって行動しやすいこと。地下鉄ブルーラインがあり、新羽駅前にはバスターミナルがあり、とても重宝しています。

こちらに住み始め、一番最初に訪れた場所が「新羽地域ケアプラザ」です。夫とウォーキングをしていて何気なく立ち寄ったのが、この施設でした。中に入ってみて色々な催しやサークルがあり、興味があきました。

福岡では夫婦で地域活動をしていたので、すぐにこちらでも色々なサークルに参加し、新しい友人もでき、それなりに充実した日々を送ることができました。

住環境もよく、近くに緑道が

あったり、少し歩けば新横浜公園、日産スタジアム。労災病院もあり色々な施設が整っています。

都会であつても周りは田園風景が残っていて、地下鉄で出かければショッピングモールや映画館もあり、横浜にも近く色々楽しめます。

超高齢化社会を迎えている現在、若い人と共に街を支えていくには、高齢者もできるだけ自立し、食事・運動・感動することなどを大切にし、各々が元気で明るく前向きに生活することが、住みやすい街づくりの力になると思います。

これからも新羽の街がますます発展し、進化すること願っています。

地域のつながりで災害に備える

横浜市新羽地域ケアプラザ

地域包括支援センター保健師

小笹優美

能登地震や大雨による水害等甚大な被害のニュースを目にする機会が増え、新羽地域においても防災意識の高まりを認識しています。

新羽地域ケアプラザにおいては、定期的な防災訓練、職員研修等において様々な災害発生状況を想定、シミュレーションしながら、地域の方が安心してケアプラザを利用していただけるように、実践的な訓練に取り組んでいます。

地域には歩行困難な一人暮らしの高齢者や障害をもつ方など災害発生時の避難はどうすればよいか



新羽地域ケアプラザでの  
防災研修の様子

不安を抱えている方がいらつしやいます。車椅子で生活している一人暮らしの女性Aさんは自宅からやや遠い地域指定の小学校や福祉避難所への移動にも不安があり、自宅からより近くにある安全な建物と施設の方にご自身のことを前もって知ってもらっていると安心というお気持ちでいらつしやいました。そこで、自宅から一番近い施設と一緒に挨拶に伺いました。車椅子トイレ等安心できる施設内の様子や施設の職員の方からの温かい対応を受けて、Aさんの安心した表情や明るい笑顔がみられました。

さらに、町会長副会長にご協力いただき、一緒にAさん宅に訪問し、和やかな対話を通して「顔の見える関係」もできました。今後は地域指定の小学校や福祉避難所等への避難の可能性も見据え、地域の方と一緒に防災訓練に参加する予定です。

新羽で暮らす皆様のつながりや温かな支え合いは災害時にいっそうの重みを増します。平時から顔なじみの関係を築きながら、個々

に合った避難方法について、地域の方々や関係機関と色々な状況を想定した話し合いの機会を持つて良好な関係をつくっておくことが何より災害の備えになると感じています。

**令和6年度  
オレンジの輪プロジェクトに  
参加しました。**



新羽地域ケアプラザでは毎年『世界アルツハイマー月間』にあわせて、認知症への理解を広める活動を行っております。新羽地区社会福祉協議会はこの活動に賛同し、地域の方の協力を得ながら、認知症普及啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のマリーゴールドの花苗を、令和3年と令和4年に新羽地区に植栽してきました。『誰もが安心して暮らせる町』を

目指し、1人でも多くの方に、認知症啓発活動のを知ってほしいと思っています。本年度は新羽地域ケアプラザで行われた5つのイベントの参加者へ、マリーゴールドの花苗をプレゼントいたしました。苗は「花の里づくりの会」よりご賛同いただき、

共同で購入しました。持ち帰った苗を人目に付く場所へ植栽していただき、新羽地区を温か



なオレンジ色のあふれる町にしてほしいと願っています。



**2024年度 児童福祉事業**

~特別支援教室「たけのこルーム」への備品「木製パーティション」を寄贈しました~

新羽小学校佐藤校長先生に、新羽地区社会福祉協議会としてお手伝いできることがないかお話を伺ったところ、「よりよい学習環境を整えるための備品の準備をしており、『たけのこルーム』に個人空間用のパーティションがまだまだ不足している。ここ数年間の児童数減少による学校予算の縮減と、物価高騰により今年度の学校財務会計はたいへん厳しい状況で補充が間に合わない」とのことでした。そこで新羽地区社会福祉協議会では、令和6年度児童福祉として、木製パーティション4台を5月に寄贈しました。



**たけのこ  
ルームとは**

新羽小学校独自の教室の名称です。特別支援教育の一環で、一般教室の集団の中で学習するより、集中できる環境の中で個別に学習したほうが、効果を望めるような場合に利用する教室です。



さまざまな学年で利用があり、国語や算数等の学習内容を進めています。パーティションを使用することで、安心できる自分だけの空間が作られ、学習に集中することができます。また、子どもが自分の気持ちを落ち着かせるために、利用することもできます。

**イベント詳細**

- ① 子供向け ランタン作り体験  
8月9日(金) 10:00~
- ② 精神科医による最新の認知症治療と予防の話  
9月7日(土) 13:30~
- ③ オレンジカフェ  
9月17日(火) 13:30~14:30
- ④ 認知症のことを知る時間  
9月21日(土) 13:30~
- ⑤ オレンジ大使トークイベント  
『認知症でも楽しめる人生がある』  
10月5日(土) 13:30~

●賛助会費をお納めくださいました皆様をご紹介いたします。たくさんの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。また集金にご尽力いただいた町会の皆様にも、重ねて御礼申し上げます。(敬称略)

(令和六年十一月二十日現在)

◆南町内会

浅倉克彦、望月俊一、渡部隆夫、中村俊幸、中村光子、中村 剛、中村絵美、尾沼利夫、中村道雄、加藤和明、峯木 隆、川村利雄、中村 勤、中村正義、小山正博、望月健一、望月文夫、望月 薫、新横浜テクノヒルズ、小山耕太郎、ミナミ石油(株)、小山澄子、小山佑樹、森田美穂、田中孝幸、望月秀夫、望月良一、峯木健一、峯木政雄、(宗) 専念寺、中村敬三、小山芳男、小山 豊、三橋雅久、望月 要、武田高久、三橋浩二、長澤保茂、中山隆之、望月雄子、望月正儀、小山敏子、望月林蔵、(有) 間野工務店、麻野 仁、医療法人社団竹内会、東洋総業(株)、安保広美、安保裕子、岡崎 照、本間富子、中村 稔、(有) フジトソー、中村忠夫、佐藤勝雄、コンドローテック(株)、(有) 富士製作所、(株) トーシンコーポレーション、三和機材(株)、(株) サクライ、東洋洗濯機械(株)、マックス建材(株)、島田工業(有)、(株) ヨシダ精工、日本インカ(株)、富井恵美子、山崎智子、世界心道教南山教会、横浜北交通(株)、ラミコジャパン(株)、小林孝昭、(有) 又吉製

缶鉄骨工業、(有) ウエノン製作所、(有) ボウズ、(有) 加邊製作所、大盛化工(株)、栄光デザイン&クリエーション(株)、(株) P.F.工房、(株) オウル・クラフト、ローソン北新横浜店、ヤマセ精機(株)、エステム(株)、山崎メッキ工研(株)、(有) 佐々木工業、高周波熱処理(株)、(有) 創和美装、(有) 藤崎塗装工業所、(株) 葵ダイカスト、山口精工(有)、DenDen、(株) 川本製作所、(株) ザ・カスタム、(株) かおる葬祭、ソートク工業(株)、新横浜名倉堂整骨院、(株) 横浜システム、(有) 三浦製作所、(資) おくさわや、(株) ニッセイ創美、ローソンスリーエフ北新横浜駅前店、モジップ、エスタフロンテ、古川久雄、東原 梢、片山歯科医院、(有) 安達製作所

◆中ノ久保町内会

齊藤貞弘、中野隆安、小山正則、小林紘子、本間欣哉、小原理機(株)、(有) 羽黒製作所、河口久仁子、(有) 新港精機製作所、(有) ショウエイ精機、(有) ユタカ製作所、(株) サンジェルマン、(株) ミツハシ港北工場、(株) 扶桑エンジニアリング、東神商事(株) 横浜工場、渡辺知恵子、田辺商事(株) 横浜支店、(株) 旭ネームプレート製作所、尾崎晴二、福祉クラブ生協きらり港北、(株) 米山商事、丸重食品工業(有)、小山 明、米山和廣、富士川幸男、小山幸義、小山泰男、甲斐工業(株)、秋本伸明、富士川 実、富士川 弘、小山健次、(株) ロジパックマルハチ、(有) 小野電

機商会、栗林裕一、渡辺幸子、神奈川ユニホーム、米山啓一、芹沢満男、小山 洋、小山祐一、小山定雄、米山藤幸、小山秀夫、小山光雄、小山昌夫、小山芳幸、小山 孝、佐藤建二、鈴木京子、東海林紀子、長谷川武明、堀内好子、岸 二郎、五十嵐繁夫、小山武三郎、梅津辰雄、宮崎昭也、大柴正雄、荒川節子、菊地昌幸、西尾商店、長澤英雄、加賀谷省二、高橋 稔、秋本貞夫、沖 敬介、小園隆幸、古賀文人、アシード(株) 横浜支店

◆大竹町内会

飯冨由美子、松村清見、小林菊江、中山大成、中山英雄、高橋美代子、中山芳治、(有) 岸コーティング、秋元勝治郎、中山新一、(有) 松阪電気商会、平等勝尊、和田国紘、新羽幼稚園平等大智、平等ひとみ、伸栄通信(有)、東洋電源機器(株)、中山尚道、中山 勉、中山政光、中山昌子、飯塚啓吾、武石貞信、中山 正、中山明子、小野 明、佐藤秀一、白岩金男

◆中央町内会

尾出清和、米山石油(株)、伊藤仁海、青山龍博、村田祇臣、米山富夫、米山 泰、中村綾子、中村 明、村田由雄、村田和夫、米山潤一、小澤 潔、大谷庄作、茂呂俊光、(有) ヨネヤマプランティション、秋元正義、秋元孝之、土岐頼延、大戸孝英、大角篤司、(株) ニューウイング小池 裕、秋元和江、千保慶和、秋元昌夫、大森昭男、米山誉宣、秋元信雄、

中丸莊一郎、岸 壽雄、秋元真由美、秋本タカ、岸由貴彦、岸 順一、秋元義顕、秋元 明、中丸一夫、中丸秀子、佐藤忠夫、酒川國男、金澤 等、秋山千代子、米山美代子、岸 芳雄、中山 宏、尾出和彦、米山春男、柳下節子、岸 常夫、小池信吾、柳下春治、齊藤俊文、米山 幸、酒川 正、柳下利男、佐藤良子、米山健二、東京アンデス物流(株)、(株) マルナカ、(株) 石原興業、ois i P I Z Z A y a s a n 2 8 二ハチ、松村整形外科、(有) 鎌田工務店、ローヤルよつや、楓歯科クリニク、満天酒場新羽店、酒川弥一、秋本勝巳

◆新羽町自治会

豊岡 修、磯部秀夫、八木克賢、樋之口直樹、柴田 績、藤井静枝、高崎林治、畑貴美子、猪野伸吾、森 秀雄、伊藤裕康、石井 勇、高橋きんよ、塩山桃子、宮澤良男、秋元いみ子、名倉恵子、窪田裕之、小松賢吉、八木照子、飯田美佐子、尾口致子、豊久定弘、高階清策、渡邊壯一、神尾宣好、川島 弘、小泉千秋、鴻池守也、蒲生禮一郎、高梨静江、井手籠春喜、米山信市、坂本八重子、水谷和秀、和田正志、七ツ役きち子、吉田 薫、佐藤文一、前田純江、ナイスアーバン横濱港北プロムナード、島岡栄基、綿谷尚久、佐野雅彦、青木一繁、秋元弘之、渡邊正文、渡邊登美子、秋元和夫、菅原宏則、松本東五、松本須美子、小川清志、池田義春、池田 守、野崎 誠、田上新太郎、豊廣スミ子、

岩崎恵子、山田京子、青木 繁、内古昭好、平野ひとみ、山本義広、木下真里子

◆新羽町町内会

富樫祐彰、万寿留夫、平沢 洋、福田 勝、安江文子、(株) デザートランド、(株) 丸紀、田中喜世子、廣田有司、三邦産業(株)、大谷 勇、(株) サンエス、大谷里士、今橋章徳、幸松浩幸、秋本 孝、工藤朋子、渡部輝雄、(有) アライ電器、細野雄平、真坂 栄、富岡正行、鈴木正敏、ヘアサロンクイーン、(株) ア

◆北新羽町町内会

大森洋一、西山孝雄、西山裕一、秋元朝光、松井隆二、秋元重雄、西山正男、秋元正人、高瀬正雄、西山憲一郎、秋本賢一、秋本秀充、東急バス、はる動物病院、伊橋興業(株)、(株) 大杉運輸、(有) 橋谷電機、五元工業(株)、小林英子、小坂晋也、西山壽枝、田中 弘、秋葉康幸、峯木輝雄、秋本 浩、齊藤武男、西山 豊、飯島春夫、吉田 茂、小山博之、望月敦司、金子政男、野口真佐子、野口 進、小山幸夫、飯島公男、斎藤孝行、土岐良成、秋本恵美子、医療法人寛栄会カメリア、山本健司、小山幸治、三栄精機(株)、(有) ナガサキ研磨工業、

民生児童委員／主任児童委員 紹介

(民生児童委員)

- 南町内会
- 中之久保町内会
- 大竹町内会
- 中央町内会
- 新羽自治会
- 新羽町内会
- 北新羽町内会
- クリオ新横浜北自治会

- 望月千鶴・山崎智子・富井恵美子
- 秋本伸明 (会長)・鈴木京子 (副会長)
- 平等ひとみ
- 米山健二・千保千代子・土岐頼延
- 佐藤佳代・塚越真澄
- 小林省治・安江文字・迫圭子
- 吉田恵三・大森幹夫・秋元正人
- 大場英俊
- 安保裕子・長瀬絵香



- 矢作ダイカスト工業、大谷朝光、西山良行、大谷勉、金子道男、萩原啓一、大森俊雄、米山景子、吉田輝夫、大谷佐一、斉藤光雄、植野法稔、金子美津江、大森英司、大森光朗、吉田弘、武田等、萩原実、小島稔、大森直紀、萩原裕行、金澤健児、特別養護老人ホームニューバード、八田昇、大谷美知子、海川義人、西山佳子、金子賢一、金子高之、坂倉幹夫、金子泰男、坂倉アキ、金子方子、金子澄美恵、坂倉邦雄、金子節子、川島GIREESAN、高橋俊明、吉田陽子、坂倉正一、飯島正夫、金子勉、明石寿恵、望月充明、森雄図、島田美樹、武元祐樹、西尾善政、鹿島清治、吉富輝浩、新堂隼人、萩原利典、吉田恵三、

◆クリオ新横浜北自治会

クリオ新横浜北自治会  
 以上499名(社・会)  
 662口 1,324,000円  
 もの多額のご協力をいただきました。この賛助会費は港北区社会福祉協議会へ納入し、新羽地区社会福祉協議会に活動交付金として還元されます。

- 吉田隆男、中山稔、下田博、藤田久雄、石井隆、望月紀一、吉田清、永井喜男、秋本典夫、高瀬茂、高瀬明、西山重光、萩原一男、大森幹夫、金子紀夫、金子輝男、高瀬茂夫、今井裕介、野村太、藤田精機(株)、中原重富、海野勘次、西島文江、平田洋一、長瀬健二

ご寄付ありがとうございます

- 新羽町親睦ゴルフ大会実行委員長様 親睦ゴルフ大会でのチャリティー金
  - ・4月 38,000円
  - ・11月 34,500円
- 高木小児科クリニック
  - 院長 高木秀二様
  - ・7月 30,000円

ご支援ありがとうございます。  
 寄付金は地域福祉活動に有効に活用させていただきます。

新しい事務局メンバーです



(串田さん) (東原さん)

◆本年度より新羽地区社会福祉協議会事務局に参加している東原梢です。

右も左も分からず、お手伝いのお手伝いとして社協に携わらせて頂いています。お力になれているかは分かりませんが、知らなかつただけで、これも社協なのね！ということも多く知り、また、地域の方々とも触れ合い、顔を知ってもらい交流も生まれ。

余談ですが、私の母も社協経験者で、血は争えないんだなと笑ってしまいました。

東原梢(ひがしはらこずえ)さん

あなたのまちの行政相談委員は

小山米子です。

偶数月の第2火曜日 13時から15時

港北区役所1階にて 行政相談を受けています。

相談無料・秘密厳守

行政サービスに関する苦情や手続きの仕方の問い合わせ、役所のどこに相談していいか迷っているものでは関係各所との懸け橋として連絡・調整をします。暮らしに関する声をとどけます。

問い合わせ先

港北区役所広報相談係  
 電話 045-540-2221

編集後記

◆はじめまして、令和6年度から新羽地区社会福祉協議会事務局で活動しています串田 雅子です。これまで『社協』という言葉も聞いてもどんな活動をしているのかよく分かりませんでした。5月の総会からはじまり、毎月の常務理事会、社協ニュース発行、防災講習会開催、認知症啓発活動『オレンジプロジェクト』、日帰りバス研修会企画など、覚えることが過ぎた上半期でした。

まずは一年を通して『社協』が新羽地区の方々にとってどんな存在なのかを理解していこうと思っ

串田雅子(くしだまさこ)さん

新しいお二人には「知らなかつた」という新たな視点で、活発なアイデアや意見をいただいております。これからはよろしくお願

新年おめでとうござい  
 ます、ふくしの和第40  
 号の「特別号」はいかが  
 でしたでしょうか。新羽  
 地区社協の歴史は興味深  
 かったですね。昨年のサ  
 マーフェスティバルは第  
 30回、健民祭は50周年プ  
 ラス1、新羽杉山神社神  
 輿会は40周年と区切りの  
 良い行事が沢山開催され  
 た年になりました。  
 なおサマーフェスティ  
 バルの様子は新羽高校ポ  
 ランティア部の皆さんが  
 レイアウト協力してくれ  
 ました。  
 令和7年も活気あふれ  
 る「和・輪・話」のまち  
 につばを皆で支えていき  
 ましょう。

印刷 有限会社シュープリント  
 ☎045-1360-1340